

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	関東甲信越地区（主担当大学：茨城大学）
事業名	Beyond Library, Beyond Librarian ：関東甲信越地区国大図協セミナー
事業目的・趣旨	ICTの進展や社会の発展によってわたしたちをとりまく環境は大きく変化している。図書館に求められる役割やサービスもそれに伴って変化しており、新しいあり方等について検討しなくてはならない。 環境の変化の中で図書館の未来に大きく関わってくるものはどれか？どんなふうに影響し図書館はどう変わってゆくのだろうか？ 幅広い視点から影響が大きいと考えられるトピックを取り上げ、そのエッセンスを学び、図書館の将来像を考える。
実施内容	セミナー開催 平成26年2月20日(木) 13:00～17:15 於：筑波大学附属図書館 1) 時代の流れに即した図書館職員の意識改革 ○大久保 政博(茨城大学 学術企画部長) 2) 図書館総合展大学図書館シンポジウム等レビュー ○鈴木 雅子(旭川医科大学 図書館情報課長) 3) 研究データマネジメント：データサイエンス時代の大学図書館 ○池内 有為(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程) 4) 情報組織化の終焉：RDA？PDA！ ○山本 和雄(横浜国立大学 図書館情報課長) 5) J-MOOCの動向について ○山田 恒夫(放送大学 教育支援センター教授) 6) アカデミッククラウド ○山地 一禎(国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授) 7) シェアドプリント ○加藤 信哉(筑波大学附属図書館 副館長) 質疑応答あり
事業の成果 (アンケート調査結果、事業への意見・感想等)	地区の国立大学から26名の参加があった。異なるテーマの30分の講義を7つ連続するという形式だったが、アンケート結果からはおおむね好評で、現在話題となっている様々な話題をコンパクトに要点をまとめて聞くことができた、図書館の「外」の視点を知ることができたという感想が多かった。一方でもっと掘り下げて詳しく聞きたいという意見もあった。
経費	謝金 4名分 28,414円(3名は辞退) 旅費 4名分 79,060円(筑波大学及び茨城大学は支払無し)